

各 位

東京都品川区東品川四丁目 12 番 8 号  
株 式 会 社 S J I  
代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 李 堅  
( J A S D A Q : 2 3 1 5 )

問 合 せ 先 :  
常 務 執 行 役 員 経 営 統 轄 本 部 長 大 槻 二 郎  
Tel. 03-5769-8200 (代表)

### 構造改革の方向性に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 1 月 7 日開催の取締役会において、今後想定される経営環境を踏まえ、当社の構造改革の方向性について討議し、その内容につき決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

当社は、平成 19 年 3 月期において最高益を達成してからは、4 期連続で減収減益が続きました。

この減収減益の流れに歯止めをかけ、再び事業を収益向上の軌道に乗せるために、当社として、下記の構造改革の方向性につき決議いたしました。

#### 【日本国内事業】

- 1) 日本国内事業の収益低下に歯止めをかけるために、過大な人員／組織を適切なサイズにダウンサイジングし、固定費を下げ、事業収益の向上を目指します。  
(その具体策の 1 つとして、本日別途開示の「希望退職者募集」を実施します)
- 2) 収益性と成長性が見込める分野（例えば、医療情報システム等）に投資すること等により、収益構造の改革を目指します。
- 3) 優秀なスタッフを投入し、より付加価値の高いビジネスを生み出すための研究開発部門を設置します。

#### 【中国事業】

- 1) 当社の包括的な提携先であり、主要株主である神州数碼（デジタル・チャイナ）グループ（以下、DC グループという）との事業連携を加速させます。金融、政府向け等の S I 事業におけるシステム開発を当社中国子会社に徐々に集約することは既に DC グループと合意済みではありますが、来期中にそのことを具体化し、収益に反映できるようにします。
- 2) 選択と集中の観点から、システム開発／サービスを主軸とすべく中国事業を再編します。非システム開発／サービス事業を整理すると共に、システム開発／サービス事業に投資し、スケールメリットによる収益の拡大を目指します。

#### 【日本と中国の橋渡し事業】

- 1) DC グループの力も活用し、引き続き日本のベンダー／メーカー等の中国ビジネスを支援すると共に、日本のベンダー／メーカーと DC グループとの共同事業に参画すること等により、新たな収益源を開拓します。
- 2) 日本のベンダー／メーカーとの提携を通じて、中国市場の求める日本の優秀なシステム並びにサービスの展開を行ないます。

#### 【財務流動性の向上】

上述した非システム開発／サービス事業並びにその他必要性の低い資産を整理することにより、財務の流動性を向上させ、財務内容を改善すると共に、将来の投資余力を増加させます。

#### 【人材の育成強化】

日本と中国の橋渡しに適する人材の育成を強化し、人員配置の最適化を行います。

当社は、上記の方向性を迅速に具体化し、再び成長軌道に乗れるよう経営努力を進めてまいります。具体的な施策並びに当社業績に与える影響につきましては、公表できる段階になり次第、適時公表させていただく予定です。

以 上